

平成16年度校内研修計画書

川場村立川場中学校
校長 利根川太郎
研修主任 山岸 信之

1 研修主題

きめ細かな指導の充実
確かな学力の向上を目指して

2 研修主題設定にかかわる学校課題

(1) 生徒の実態

- ・素直で真面目であり、学校生活全般にわたってしっかりとした取り組みができる。
- ・与えられた課題など、やらなくてはならないことをしっかりとやることができるが、主体性に欠ける部分が見られる。
- ・数学科と英語科における少人数学習では、習熟度別クラス編成での実施を通して、きめ細かな指導の充実がなされた。諸検査(CRT、NRT等)の結果からも学力の向上が図られてきている。
- ・形成的な評価を取り入れた授業の実践を通し、補充指導に力を入れた結果、下位の生徒の基礎学力の定着がなされた。
- ・定期試験の廃止、単元テスト、総合テスト、補充学習の実施が軌道にのり、学習への取り組み方が定着してきた。今後は、主体的に学習に取り組む姿勢を育てることが課題であり、学習意欲の向上と学びの質の向上を図っていきたい。

(2) 家庭・地域の実態

- ・農村で人口も少なく、環境も落ち着いているため、生活に派手さもなく、家庭環境も安定している家庭が多い。
- ・保護者は、学校の取り組みに対し理解を示している。また、学校教育に対する関心も高く、授業参観など学校行事への参加率も高い。多くの生徒は塾に通っており、面接などの様子からも、基礎学力の向上を望んでいることがうかがわれる。
- ・本校の教育環境は大変恵まれており、コンピュータ関連の施設の充実や空き教室の有効活用がなされている。また、村もホームステイ事業をはじめとし、チャレンジウィークを継続して実施しているなど、教育に重点を置いた取り組みを見せている。

(3) 教職員の指導力の向上にかかわる課題等

- ・評価の方法が定着し、補充指導に重点を置いた取り組みがなされた。
- ・補充的な学習や発展的な学習を通して、生徒の課題や良さを伸ばす指導を充実させることに取り組んできたが、今後は、発展的な学習の充実を図る努力が必要である。
- ・授業を重視し、単元テストで定着度を確認するという流れが定着した。授業重視のための方策として、効果的な教材の開発を進めていく必要がある。

3 研修のねらい

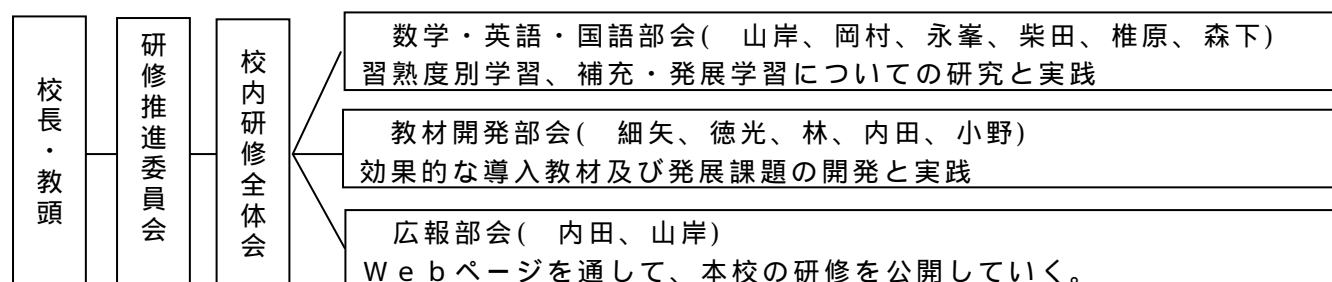
指導と評価の一体化を推進することで、基礎基本の定着を図る。また、学習意欲を高め、学びの質の向上を目指した、効果的な教材の開発に取り組む。それによって、授業を更に充実したものにし、学習意欲を高め、学びの質の向上を図ることによって、確かな学力の向上を目指す。

4 研修内容・方法

- ・導入等における学習課題の開発と実践
- ・発展的な学習課題の開発と実践

- ・効果的な評価の仕方の研修と実践
- ・補充学習及び発展学習の効果的な実践方法
- ・少人数指導の研修

5 研修組織



6 研修計画

月	内容及び方法
4	今年度の研修主題、研修内容の確認、A訪問準備
5	A訪問、研修の内容の修正、
6	効果的な学習課題の開発、評価及び通知表についての確認
7	校内授業研究会(効果的な学習課題)
8	個人研修(教材研究)
9	校内授業研究会(発展的な学習課題)、B訪問準備
10	B訪問、B訪問の反省
11	公開授業準備
12	公開授業
1	研修のまとめと川場の教育の原稿作成
2	学年末評価について、第3回総合テストについて
3	研修の反省と来年度の研修の確認

7 研修推進・運営上の課題

研修を進めていく上での課題を挙げると下記ようになる。

- ・少人数指導は、今年度より国語・数学・英語で実施する。新たに実施する国語科において、どのようにして実施していくか。
- ・2、3年生はークラス20人余りの小集団であり、2つに分けると10人前後になる。このような場合の指導をどう進めていくか。
- ・発展的な課題については、補充的な課題との関連も含めて、どのような扱い方をしていけばよいか。
- ・今年度の研修の主たる内容は、教材研究の充実にある。教科部会として、国語・数学・英語以外は一人であるため、個人研修が中心になる。したがって、研修を焦点化し、学習課題をどう捉えていくかを明確にするなど、どうすれば統制を図ることができるか。
- ・学力向上フロンティア事業の3年目として、公開授業のあり方、教材開発とその提供の仕方等、どのような形をもって締めくくるか
- ・Webページによる公開作業を定期的に更新することための工夫。